国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 21 年 12 月 3 日

各　位

会社名　　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　　代表取締役社長　黒田 直樹
コード番号　1605　東証第 1 部
問い合わせ先　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　板野 和彦
電話番号　　03-5572-0233

インドネシア共和国 南ナトゥナ海 B 鉱区 ノースブルットガス田生産開始について

当社は、子会社ナトゥナ石油株式会社を通じて事業を推進しているインドネシア共和国南ナトゥナ海 B 鉱区において、石油・天然ガスの開発・生産作業を実施しておりますが、この度、新規開発中のノースブルットガス田から天然ガスの生産を開始いたしましたので、お知らせいたします。

ノースブルットガス田からの天然ガスの生産は、今後順次拡大し、2010 年には、日量約 2 億立方フィート（原油換算日量約 33,000 バレル）に達する予定であり、また、日量 20,000 バレルを超えるコンデンセートと LPG が生産されます。同ガス田から生産された天然ガスは、本鉱区の他のガス田で生産された天然ガスとともに、国際パイプラインにてマレーシアに供給され、また国内向け LPG としても供給される予定です。

当社は、その事業活動の中核的地位を占めるインドネシアで、東カリマンタンマハカム沖鉱区における 50%の参加権益を保有し原油・天然ガスの開発・生産事業を実施しており、合計 11 鉱区にて探鉱・開発・生産事業を展開しております。特に、アラフラ海に位置するマセラ鉱区アバディプロジェクトでは、LNG 開発に向けての基本設計作業の実施に向けて準備作業中です。

今回のノースブルットガス田の生産開始は、インドネシアの天然ガス資源の有効利用に貢献するとともに、当社グループの事業基盤を更に強化することとなります。当社は、今後ともインドネシアでの事業展開に積極的に取り組んで参ります。

補足説明

① 南ナトゥナ海 B 鉱区の概要

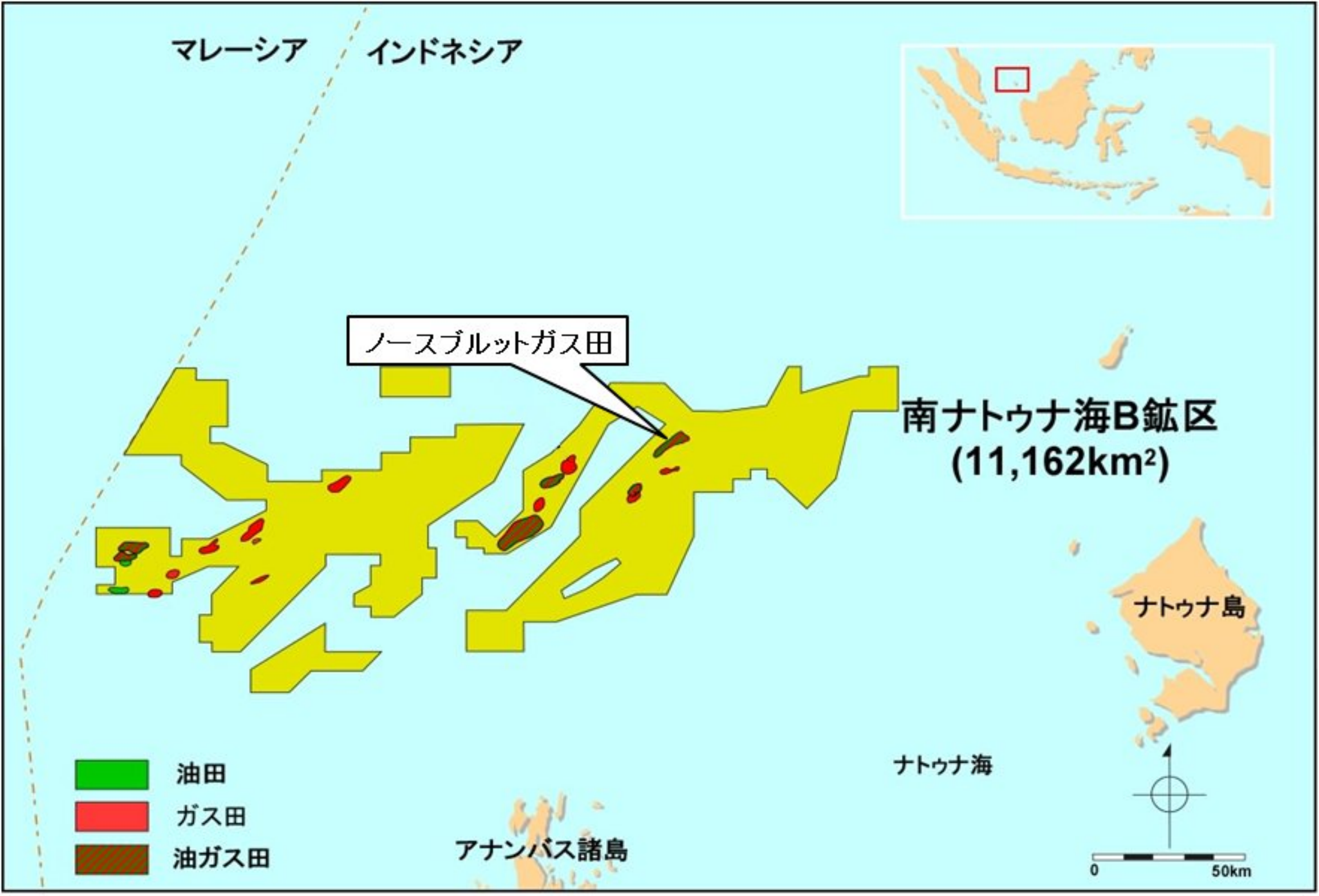
南ナトゥナ海 B 鉱区は、ナトゥナ海に位置し、水深 50～100m、鉱区面積は、11,162km^2、

ジャカルタの北方約 1,200km に位置しております。ノースブルットガス田は、既生産中のベラナック油ガス田の北東約 60km に位置しており、水深は約 100m となっております。

② 参加の経緯及びパートナーの概要

1977 年に、同鉱区の参加利権を取得し、現在、ナトゥナ石油㈱（資本金：50 億円）の参加権益は35% 他の権益保有者は、オペレーターのConocoPhillips 社(40%)、Chevron 社（25%）となっております。本鉱区の生産分与契約は、1968 年に締結され、契約期限は、延長された結果 2028 年となっております。

以上


マレーシア
インドネシア
ノースブルットガス田
南ナトゥナ海B鉱区
(11,162km²)
ナトゥナ島
ナトゥナ海
油田
ガス田
油ガス田
アナンバス諸島
0
50km